

原子力規制庁補助事業

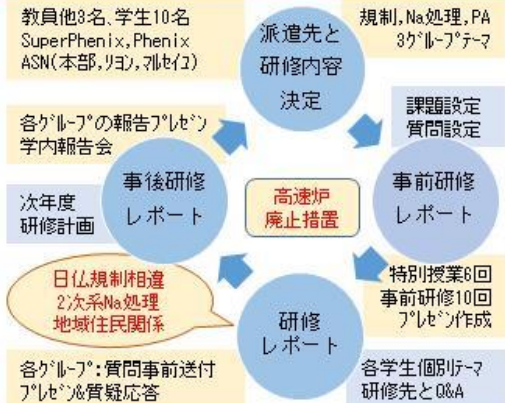
コンプライアンス意識を持つ、GLOCALな原子力人材育成：福井工業大学

達成目標

本学の基本教育カリキュラムに、原子力規制人材育成に特化した教育プログラムを構築し付加することにより、原子力安全や原子力規制に必要な知識と経験及び倫理観を有する人材を育成

目標とする人材

原子力規制委員会が定めた新規制基準を理解し、それを遵守する必要性を認識し、新規制基準に関連する科学的・技術的知見を習得し、法令遵守及び倫理についての知見とその重要性を認識し、習得した知見を、説明できる能力を有し、それらを、原子力施設の設計・管理や安全確保に、着実に適用できる人材



H30年度育成人数	アンケート結果 (肯定回答率) 5段階評価 上位2段階				
	実人数	延人数	興味	理解	継続
30.11.末現在					
基礎講座	67	228	87%	75%	89%
規制現場研修	49	429	96%	84%	95%
H30年度 計	69	657	91%	79%	92%

規制現場など研修	例：海外原子力機関研修
1. 自ら学ぶ姿勢を醸成	1. 学生10名3グループ
2. PDCAにより効率的育成	2. 各グループ個別レポート



4年間一貫教育による原子力規制人材育成

現場研修重視教育 近大原子炉実習, 近大実習 廃止措置研修, 瑞浪研修 環境放射線測定研修 放射線測定, 放射線照射実習 関電, JAEAインターンシップ SPEC: 通じるを重視した英語 ○原子力英語演習 ○英会話カフェ 原子力法規, 原子力社会学 原子力倫理, 非破壊検査 原子炉関連, 核燃料関連 放射線関連, 放射線測定等 福井工大基本教育	上級(3年) 約10名	① 保障措置及び核セキュリティ ② リスクコミュニケーション ③ 原子力広報・原子力PA	① 原子力広報、原子力PA研修 ② 海外原子力機関研修 ・特別授業(もんじゅ): 6回 ・事前10回・事後3回: 研修
	中級(2年) 約15名	① 原子力保安検査官業務 ② 品質保証活動 ③ 地質, 地盤, 地震発生メカニズム ④ 耐震安全性(耐震, 免震を含む)	① 再処理など規制対象施設研修 ② 福島第一原子力発電所等研 ③ 原子力防災研修 ④ 災害発生時の周辺影響研修
	初級(1年) 全員	① 原子炉等規制法等の基本法令 ② 諸外国における原子力規制 ③ 規制対象施設 ④ 国際原子力機関等の活動	① 原子力発電所研修 ② 原子力関連機関研修
	対象人数	原子力規制にかかわる基礎講座	

事業概要: 本事業と基本教育カリキュラムの相補的活用により原子力規制人材育成を育成

研修方法:

- 本学学生10名を3グループに分け、各グループの研修テーマを学生が自主的に決定。
- 各グループの研修テーマに基づき、各グループが事前学習(計16回)
- 事前学習に基づき、各訪問先に、質問を事前送付
- 訪問先での研修(学生プレゼン、訪問先プレゼン、質疑応答及び必要に応じ現場研修)
- 訪問先での研修に基づき各グループの事後研修(計3回)
- 学生報告会(本日)